

## 第 31 回 佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

|              |                                                                                                                                               |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時          | 令和 8 年（2026 年） 7 月 24 日（金） 18 時 00 分～19 時 45 分                                                                                                |
| 場 所          | 長野県佐久合同庁舎 講堂                                                                                                                                  |
| 出 席<br>（敬称略） | 吉岡道明、畠山啓二、神津長生、山浦みつ子、坂川和志、渡辺 仁、白鳥敬日瑚、坂江千寿子、廣末恵子、滝沢裕之、吉岡 徹、長田芳子、大塚幸恵、山崎由香、堀籠英和、石川政好、酒井宗路、小林颯介、今村奏音、中沢美羽、水澤琉生、武田倖奈、柳沢 敬、赤羽根弦、原多恵子、齋藤桂似郎 以上 26 名 |
| 傍聴者          | 18 名                                                                                                                                          |
| 事務局          | 野 沢 北 高 校：大池教頭（事務局長）、澤田教諭、齋藤教諭、三石教諭、松本教諭<br>野 沢 南 高 校：篠原(豪)教頭（副事務局長）、篠原(俊)教頭、阿藤教諭、小須田教諭、森泉教諭<br>県教育委員会：柳沢主幹指導主事、土橋主任指導主事、竹前主任指導主事、貝野主事、駒込指導主事 |
| 当日資料         | 次第、第 30 回懇話会まとめ、学びのイメージについて、プロジェクト K（校名・校歌・校章）について、設計進捗報告、施設整備説明会                                                                             |

### 会議事項

- （1）第 30 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ
- （2）学びのイメージについて
- （3）プロジェクト K（校名・校歌・校章）について
- （4）施設整備について
- （5）その他

### 主な内容(要旨)

### →高校再編推進室回答

### ⇒懇話会事務局回答

- （1）第 30 回佐久新校再編実施計画懇話会まとめ

事務局から説明。

【質疑・意見】 なし

まとめについては、今後、事務局において作成後速やかに案をメール等で示し、了承を得たうえでホームページに掲載することを提案。

【質疑・意見】 なし

- （2）学びのイメージについて

全日制・定時制の学びのイメージ（修正案）について再編推進室より説明。

【質疑・意見】 なし

- （3）プロジェクト K（校名・校歌・校章）について

アドバイザーについてワーキンググループより紙面にて紹介。

両校から文化祭における生徒会企画について報告。

○二次元コードを活用して校名募集を実施。

校名募集要項（案）について再編推進室から説明。

【質疑・意見】

・小中学生やその保護者への広報はどう考えているか。

→広報については、県教育委員会のホームページや両校ホームページへの掲載。報道機関への連絡。佐久市広報紙への掲載。市内小中学校への要項の配布。両校生徒会から SNS による発信などを考えている。

・中学校では一人一台端末が整備されているので、QR コードを読み込んで応募する方法が良いと思う。

・小学校でも同様に 1 年生から 6 年生まで全員がタブレットを所有しているので、市町村教育委員会に許可を得たうえで、それを利用する方法が良いのではないか。

- ・応募の郵送先が野沢南高校だけになっているのはなぜか。両校先生方は負担が大きい。県教育委員会で集約すべきではないか。
- ⇒両校職員とも負担はかなり大きく大変なことは事実だが、県教育委員も全県にわたる再編業務を担っているため多忙となっているのが現状である。野沢北高校での除却工事開始を踏まえ、野沢南高校を郵送先としているが、実際には、両校で取組んでいく。大変な状況が生じた際には、県教育委員会へも協力を要請していく。
- ・説明を聞けば宛先が野沢南高校だけになっていることは理解できるが、実際に応募しようと要項を見た時の野沢北高校の卒業生や関係者の心情的なことを考えると、公平性のある形を考えた方が良いのでは。
- ワーキンググループで検討する。

#### (4) 施設整備について

設計チームより現段階の施設平面計画および工事工程計画について説明。

#### (5) その他

施設整備説明会について連絡。

○開催日時：令和8年7月29日（水）19時から20時まで      会場：生涯学習センター 大会議室

##### 【質疑・意見】

- ・施設整備説明会の広報はどのように行ったか。
- ⇒回覧板により野沢地域の全ご家庭にチラシを配布した。
- ・校内の施設整備に関する検討については学校にお任せするが、同窓会として心配しているのは環境整備。拡幅地を駐車場とする説明はあったが、信号機設置を含め、安全に通うための動線に関して全く説明がないのはどういうことか。次回懇話会で示されると理解してよい。
- ⇒信号機設置について、関係機関や部局と協議を進めていく中で、信号機設置が可能かどうかの判断をするために接続道路の設計が必要であり、その設計の作成には長い時間と多額の費用が必要である事がわかった。そのうえ、接続道路の設計をしたとしても信号機設置の可否はわからない状況である。そうした中で、生徒・職員の安全確保や拡幅地の利活用にむけた他の動線についても検討を進めているところ。しかし、この協議にも時間を要しており、お示しできる段階になったらご報告させていただくのでご理解をお願いしたい。
- ・開校時に信号機が設置されていなくても、その後、地域の人などから設置を求める声が出るかもしれない。だから今の段階で信号機設置を諦めるのではなく、継続して検討してもらいたい。また、大体育館の空調整備について、検討を進めてもらいたい。「国の動向による」や「県立高校に前例がない」ということではなく、未来を担う子どもたちのために検討を進め、佐久新校が前例となるようにしてもらいたい。

## その他

### 【次回】第32回懇話会

日程：10月の開催に向け調整中

会場：調整中